ＩBDネットワーク通信

2013年春号

2013年６月発行
ＮＰＯ法人ＩＢＤネットワーク
〒０６２－０９３３
北海道札幌市豊平区平岸３条５丁目7-20
りんご公園ハウス308号
info@ibdnetwork.org
http://www.ibdnetwork.org

目　次

IBD ネットワークで進行中の調査について	2
「IBD を理解する日」記念日制定イベント報告	3
第 9 回 JPA 総会及び国会請願行動報告	4
[エリア通信]	
平成 25 年度九州エリア会議報告書	6
第 2 回福岡大学筑紫病院 IBD センター市民公開講座報告	8
九州 IBD フォーラム長崎 IBD 設立報告	10
長崎難病フェスティバル報告	10
広告・協賛企業・編集後記	11

全国のIBD患者会の連絡組織
IBD ネットワーク

全国の加盟団体の情報が掲載されています 。お立ち寄りください。
ＩＢＤネットワークホームページ　　http://www.ibdnetwork.org/

IBD ネットワークで進行中の調査について

理事長　萩原英司

平成 25 年 3 月に NPO 法人となった IBD ネットワークとして、正会員である各患者会、そして IBD 患者当事者の実態やニーズをきちんと把握し、行政や政策に反映させることも重要なミッションです。

現在進行中の 2 つの調査の他、大学研究者より実施依頼が寄せられております。

＜IBD ニーズ調査＞

日本の難病対策が 40 年ぶりの改訂が検討されています。平成 25 年 1 月には「難病対策への提言」が出され、行政（厚労省）だけでなく、政党（「新しい難病対策の推進を目指す超党派国会議員連盟、各政党の難病対策 PJ 等」、そして患者会でも要望が挙げられています。

そこで IBD ネットワークとしても患者現状とニーズ把握のため 1000 人規模の調査を行っています。

方法：正会員（登録患者会）毎に抽出調査。送付されたアンケートを郵送回収
期間：平成 25 年 6 月 1 日～6 月 30 日まで
主催：NPO 法人 IBD ネットワーク

＜IMPACT＞

昨年の IBD ネットワーク富山総会において、承認を得ているアンケート事業ですが、いよいよスタートすることになりました。

これは、潰瘍性大腸炎およびクローン病協会欧州連盟（ＥＦＣＣＡ）が行うアンケート調査で、名称を”ＩＭＰＡＣＴ”（インパクト）と呼びます。

世界２５か国で２０１１年に実施されたものですが、日本も参加することで比較検討ができますし、面白いと思っています。

なお、アンケートの表記については、世界統一の質問事項をできる限り日本語化していますが、一部に回答し辛い点もあります。何卒、ご理解を頂きまして、会員皆様へのご周知とご協力を賜りますようにお願い致します。

方法　：　インターネットによる回答方式
期間　：　平成 25 年 6 月 1 日～8 月 31 日まで
主催　：　AFCCA（潰瘍性大腸炎およびクローン病協会欧州連盟）
後援　：　アッヴィ合同会社（旧：アボットジャパン）
協力　：　NPO 法人 IBD ネットワーク

私もやってみましたが、10 分程度ですみました。
IBD ネットワークの HP（ http://www.ibdnetwork.org/　）に上記のアイコンがあります。

＜研究者からの調査依頼＞

現在、四国大学幹研究室より文科省研究補助事業の一環として、**「セクシュアリティの家族機能への影響に関する研究」ご協力**のお願いを頂いております。

調査については正会員（患者会）に別途ご案内の予定です。

「IBD を理解する日」記念日制定イベント　報告

副理事長　中山泰男

記念日登録証

IBDネットワーク 殿
アッヴィ合同会社 殿

名称　ＩＢＤを理解する日

日付　５月１９日

上記の記念日を正式登録する

２０１３年５月１９日
日本記念日協会
代表　加瀬清志

平成 25 年 5 月 19 日（日）東京ミッドタウンにおいて、「IBD を理解する日」記念日登録のイベントが開催され、メディアをはじめ多くの方々に関心寄せて頂き、成功裏に終えることがでました。

同イベントは、EFCCA【潰瘍性大腸炎およびクローン病協会欧州連盟】が初めて世界会議を開催した 5 月 19 日を「World IBD Day」と定め、世界同時的に啓発活動が行われているものです。日本での実現に向け、EFCCA のスポンサー企業であるアボット社（日本では「アッヴィ合同会社」が窓口）から全面的な協力を得ました。記念日登録証の宛名が IBD ネットワークと連名であるのもその理由からです。NPO 法人取得と合わせて記念すべき年となったことは言うまでもありません。

さて、12 時よりアッヴィ社のゲーリーM. ワイナー社長の挨拶に始まり、記念日登録証が萩原理事長とワイナー社長へ手渡されました。その後、山田まりやさん（タレント）が登場し、自己体験を丁寧に述べられ、誠実な人柄を感じることができました。この発言が翌日の新聞に大きくと取り上げられています。次に、大船中央病院の上野文昭理事長（厚労省研究班員でもある）による IBD 疾患のミニレクチャーでは、数分ながら落ち着いた口調に会場は聞き入っていました。場面は変わり、司会の町亞聖さんによる 1 問 1 答形式で、萩原理事長、中山副理事長がそれぞれに自己体験と IBD の啓発について考えを述べました。

山田さんがクローン病の疑いがあった経験を体験者でしか語れない言葉で訴えてくれたおかげで、会場は共感に満ちた空気で包まれ、「IBD を理解する日」に十分すぎるほどの適任者であったと確信したものです。また、司会の町さんの進行も素晴らしく、不慣れな二人をしっかりリードしてくれました。

最後にワイナー社長と IBDN のメンバーとでグッズ 1500 人分の配布を行いました。IBD のニーズをすり込んだ特製トイレットペーパーは優れものです。IBDN 福岡総会で配布を行うために 200 セット確保しましたので楽しみにしてください。また、会場に設置された「トイレする考える人」は、メッセージカードを自由に書いて台座に貼れる仕組みです。山田さんのメッセージが中央に貼られ、特に人目を惹いていました。現在、このモニュメントはアッヴィ社の玄関に展示されています。

終了後、応援に来てくれたメンバーとトレットペーパーを帯に携えて記念撮影です。仲間のつながりを心から感じることができました。

来年の 5 月 19 日には、全国の IBD 登録団体が地元でできる啓発に取り組んでくれることを期待したいです。
例えば、全身タイツ姿の IBD 戦隊や IBD ウォーキングなど。考えただけでもワクワクしてきます。

第 9 回 JPA 総会及び国会請願行動　報告

いばらき UCD CLUB　吉川祐一

IBD ネットワークが加盟している JPA（日本難病・疾病団体協議会）の年次総会・JPA 署名の国会請願活動が平成 25 年 5 月 26、27 日とあり、いばらき UCD CLUB 吉川さんが参加されました。レポートをご紹介します。

１．JPA 総会

平成 25 年 5 月 26 日（日）ホテルグランドヒル市ヶ谷にて、第 9 回 JPA 総会が開催されました。伊藤代表理事の挨拶に続いて来賓 9 名の挨拶がありました。来賓からは「難病患者にとって大きな負担となっている請願行動を毎年継続しなくてすむように難病対策の法制化に尽力したい」との話がありました。

議案書の審議では、まず 2012 年度活動報告（第 1 号議案）、決算報告（第 2 号議案）、監査報告（第 3 号議案）の説明がありました。質疑応答では、①総合支援法についての周知が遅れているので徹底を望む　②財政健全化のために協力会費 1000 円以上の負担を義務付けるべき　③フクシマ視察の継続実施を望む　等の意見・要望が出されました。これらに対して、①周知の徹底について今後とも取り組む　②協力会費の強制はできないので協力を望む　③「フクシマを忘れるな」という気持ちで今後も取り組んでいく　等の答弁がありました。質疑応答の後、上記議案は承認されました。

続いて、2013 年度活動方針（案）（第 4 号議案）、予算（案）（第 5 号議案）の説明がありました。今年は難病対策の法制化に向けた大事な年であることから、活動方針（案）について丁寧な説明がありました。質疑応答で、IBD ネットワーク提出資料「修正意見」をもとに以下の意見を述べ、活動計画に組み入れていただくよう要望しました。

（IBD ネットワーク意見）就労割合が低く低収入の難病患者にとっては医療費助成制度の拡充が優先項目である。健常者でもいつ発症するかわからず難病に罹れば我々と同じ状況に陥るのであるから、国民全体が「明日は我が身」の問題として認識し、生活破綻を防ぐための医療費助成対象拡大と制度充実のために予算が使われることを目標として活動すべきである。

他の団体からも医療費助成拡充を求める意見や、生計中心者ではなく患者本人の収入をもとに評価すべきとの意見が出されました。また、小児慢性疾患患者の待遇改善や在宅療養患者の家族の負担を訴える意見も出されました。これらの意見・要望に対しては、「いろんな患者団体の意見・要望があることを可能な限り厚労省等に伝えていく。IBD から出された要望についてはタイミングを計って適宜活動を組み立てていく。」などの答弁がありました。質疑応答の後、上記議案は承認されました。

最後の議案として 2013-2014 役員（案）（第 6 号議案）について審議され、14 名の理事（1 名は近畿地区より藤原さん-京都ＩＢＤ友の会会長-が留任）と 2 名の監事（1 名は IBD ネットワークより目さん - かながわコロン会長 - が留任）が承認されました。また、直後の理事会において、伊藤代表、森・山崎副代表が決定しました。

閉会のあいさつでは「ブレずに後退させず」との話がありました。

２．国会請願行動

翌日 5 月 27 日（月）国会議員会館にて院内集会及び国会請願行動が行われました。伊藤代表より、署名が 87 万筆集まったこと、請願項目を 5 項目に絞ったことなどが紹介されました。つづいて 5 名の国会議員の激励挨拶があり 30 名の議員秘書の来場が紹介されました。その後、各都道府県選出議員の事務所を訪問し、署名を届けました。

私は茨城難病連、栃木難病連の方々と合計 4 名で、茨城県選出議員 4 名、栃木県選出議員 3 名を訪問しました。議員本人はいずれも不在でしたが秘書に署名を手渡しすることができました。JPA 全体では 200 名以上の議員を訪問し「総合的な難病対策の実現」等 5 項目の請願署名を届ける行動となりました。

国会請願行動に参加したのは今回が初めてでした。議員会館に入るのも事務所巡りも初体験でした。著名な議員を間近に目にすることができて、遠い存在だった政治家をより身近に感じられるようになりました。

[エリア通信　九州・沖縄]

平成 25 年度九州エリア会議　報告書

福岡 IBD 友の会事務局長　山田貴代加

九州エリア会議を下記の取とおり開催致しましたので報告いたします。

１）　日　時　平成 25 年 6 月 1 日　14：00～17:00
２）　場　所　福岡市青年センター内　あすみん　会議室
３）　参加者　九州ＩＢＤフォーラム　佐賀ＩＢＤ縁笑会／志佐、志佐（奥様）、秀島
九州ＩＢＤフォーラム　ＩＢＤ宮崎友の会／御手洗、佐藤
九州ＩＢＤフォーラム　ちょうちょう会／小峰
九州ＩＢＤフォーラム　熊本ＩＢＤ／中山、橋永、長廣、岡部、白木、安武
大分ＩＢＤ友の会／井上
福岡ＩＢＤ友の会／長野、大野、山田　以上 16 名
４）　議　題

１．各県報告

熊本県　NPO 法人の立ち上げなどもあり、ほぼ全国的な活動が中心となっている。
2 月より電話相談を開始している。毎月「こんちぇると」と九州 IBD フォーラムのホームページ　に相談日をアップしている。相談件数は現在 0 件。
佐賀県　6 月 29 日に総会を予定している。会員が増えていない。
大分県　4 月 20 日に総会を開きました。中山さんに講演をしてもらいました。
長崎県　6 月 15 日に九州フォーラムとして「長崎 IBD」を立ち上げ予定。(代表:麻生氏)
宮崎県　事務局へ相談電話 2 件入りました。フォーラムの相談電話は 0 件です。
現在電話番号だけを掲示していますがそれだけではなかなかかけにくいのではないか。病名だけでも追加してはどうか。
福岡県　福岡支部での毎月の座談会、年 2 回の北九州での患者会は開催している。
九州ＩＢＤフォーラムと協力して電話相談にも参加している。相談件数 0 件。
福岡若手の会・・・昨年のエリア会議、市民公開講座をきっかけに立ち上げました。現在メンバーは 10 人程度。ホームページを立ち上げました。

２．相談電話実施状況

平成 25 年 2 月より開始する。現在、受信専用携帯 4 台稼働中。（熊本 宮崎 佐賀 福岡）各自が対応できる時間帯を毎月提示する。「こんちぇると」と九州フォーラムのホームページに公開。今のところ相談件数 0 件。相談記録シートを作成し相談があれば記録する。

課題　「相談件数が 0 件に対して、今後どのようにしていくのか？」

①チラシの見直し

- 病名だけでなく携帯を持っている個人のアピールを書く。スペースを決め内容は各自自由に記載。
- 相談内容の守秘義務を明記する。
- 難病相談支援センターに毎月の相談日日程をお知らせする。
- 病院と連携し必要な方に渡してもらう。
- 平成 25 年度の市民公開講座で全員に配布する。

②今後の実施状況・報告はエリア会議の時に行い、見直しを行っていく。

３．NPO 法人取得記念講座について

・熊本ＩＢＤ　中山さんより経緯説明

平成 25 年 3 月末に NPO 法人化が認められました。NPO 法人化に踏み切った主な理由は財源の枯渇であります。任意団体では賛助出来ないという企業からの声が多かったことと、もともとネットワークで行っていた運営規定、実績、会計システムは法人レベルであったということで話をすすめました。「NPO 法人ＩＢＤネットワーク」になったことにより、私たちの声が組織としての影響力を持っていくと思っています。

・NPO 法人取得記念講座、資金調達他（佐賀ＩＢＤ縁笑会　秀島氏より）

今回の事業に関して、各企業へ助成金の申請をしているがまだ獲得できていない。ぎりぎりまで申請してみるが、助成を受けられなかった場合のことを考え、寄付を募る予定。目標 10～15 万。

＜記念講座内容（案）＞

講師：春名　由一郎先生　厚生省健康局疾病対策課難病対策委員会委員
（独）高齢・障害者雇用支援機構障害者職業総合センター研究員

演題：「難病患者の就労支援の実際とこれから
～新法制定による難病患者の就労支援の展望～」

４．報告

平成 25 年 5 月 20 日　（月）

自由民主党政務調査会　厚生労働部会医療委員会　難病等に関するプロジェクトチームでの発表内容を報告（中山さんより）

５．ＤＶＤ鑑賞会

5 月 19 日「IBD を理解する日」制定 PR イベントのＤＶＤを参加者全員で鑑賞する。

主催：アッヴィ合同会社

後援：IBD ネットワーク・東京都・日本消化器学会

６．参加者の感想

私にとって久しぶりの会議への参加でした。参加者は１６名ほどといつもより多くていろいろな話が聞けました。各会の活動報告では福岡が若手の会を立ち上げていて、定期的に集まり交流しているということでした。会員同士が集まることが会を活性化させる第一歩だと思うので、とても良いことです。ぜひ続けていってさらに発展させてほしいですね。

九州 IBD フォーラムを中心に携帯電話を使った電話相談を行っていて、検討してはどうかと聞かれましたが、大分では私の自宅電話を HP で公開していて、保健所からの更新手続きの書類にも入会案内とともに、電話番号をお知らせしているため、相談の電話がたまにあります。

「IBD を理解する日」の DVD を見せてもらいましたが、タレントを呼んでのイベントを盛大に行うことなど、昔は病気であることを隠したいという人がいたことを思うと、時代は変わったなと感慨深いものがありました。これからは、IBD を認知してもらえるように社会に積極的にアピールしていかなければならないなと感じました。

（大分 IBD 友の会　井上亨）

第 2 回福岡大学筑紫病院 IBD センター市民公開講座報告

福岡 IBD 友の会　長野弘毅

第 2 回福岡大学筑紫病院 IBD センター市民公開講座が平成 25 年 6 月 2 日（日）に開催され、参加者は 350 名を越えており、パンフレット等の置かれたロビーも含めて活気にあふれていました。

１）基調講演

座　　長 ：松井敏幸　（福岡大学筑紫病院消化器内科教授）

テーマ１ 「こんなとき どうする？ 」

〜妊娠・出産、インフルエンザワクチンなど〜

演者 ：青柳邦彦(福岡大学病院消化器内科診療教授)

テーマ２ 「ここが知りたい食事療法 ！」

演者 ：花田輝代(福岡大学筑紫病院栄養部主任)

２）パネルディスカッション

テーマ：「炎症性腸疾患の治療と生活の質〜あなたと考える治療〜」

座　　長 ：松井敏幸　（福岡大学筑紫病院消化器内科教授）

パネラー：平井郁仁　（福岡大学筑紫病院消化器内科講師）

櫻井俊弘　（町立芦屋中央病院院長）

二見喜太郎（福岡大学筑紫病院外科診療教授）

大村久美子（福岡大学筑紫病院皮膚排泄ケア認定看護師）

花田輝代　（福岡大学筑紫病院栄養部主任）

中山泰男　（九州 IBD フォーラム代表）

１．基調講演

青柳邦彦先生は、IBD と妊娠は相互に影響することと、妊娠を考える際のポイントでは、病状が落ち着いていること、低リスクの薬物を選択することを挙げ、薬物の有益性とリスクのバランスが治療方針の決定に関与することを述べられました。これから結婚・出産を考える女性にはもちろん、パートナーとなる男性にも大いに参考になったものと思います。

管理栄養士の花田輝代先生は、オメガ - 6 やオメガ - 3 といった脂肪酸の種類よりも、脂肪摂取の総量を 1 日 30g 以下に抑えることの重要さを説かれました。調理の工夫では、オイルスプレーを使った揚げ物作りを紹介がありました。この方法によれば、普通に作った場合の鶏もも肉のから揚げ 100g 中の脂の量 22g を 15g に減らすことができるそうです。さらに、食材そのものを皮なしの胸肉に替えれば、脂の量は 2.5g にまで減らせるということで、会場も大きく反応していました。

２．パネルディスカッション

福岡大学筑紫病院消化器内科講師の平井郁仁先生からは、クローン病の新しい治療（生物学的製剤）で手術件数が減少したこと、最新の治療がそのまま最良の治療とはならないこと、治療は時と場合と QOL を考慮する必要のあることについて、話されました。

福岡大学筑紫病院外科診療教授の二見喜太郎先生からは、クローン病と潰瘍性大腸炎の手術の目的と適応症例について話があり、内科と外科の連携が強固になっているという日ごろ聞けない話を聞きました。

福岡大学筑紫病院皮膚排泄ケア認定看護師の大村久美子さんからは、写真を使ってストマケア中に発見した瘻孔の対処や精神的サポートの重要性について説明を受け、ストレスや疲れを溜めないよう、勧められました。

九州 IBD フォーラムの中山泰男代表からは、「難病対策の改革について（提言）」を踏まえた難病対策新法の内容が間もなく決定しようとしていること、生活のために病気を隠して働かなければならない患者の厳しい現実、軽症患者への支援がこれまで以上に必要だと訴ってきたこと等、活動報告がありました。IBD ネットワークをはじめ、患者側の代表として厚生労働省など行政や国会議員と折衝を重ねてきた中山代表の言葉は、当事者にしか語れない迫力があり、聞く人の胸に深く大きな感動を呼び起こしていたと感じました。

３．参加者からの感想・意見

- 栄養士の花田主任さんの「食事制限が辛くて死のうと思っていた患者さんが、同じ病気の仲間に会う事で、生きる希望を取り戻した。」という話に感銘を受けました。やはり患者さん同士が手を取り、助け合える環境があるってことは、すごく大事なんだなと改めて思いました。
- 市民公開講座を通して、さまざまな人間関係の広がる輪があり、お互いに理解し合える仲間がいる事の大切さを改めて実感した 1 日でした。
- 私は主治医に何でも頼ろうとしていましたが、病気について自分で学び取ることの大切さを知りました。これからも継続的にこの様な講座やイベントに参加していきたいです。
- 初めての参加でしたが、一度に多くの情報（薬剤と妊娠出産の関係、食事の事、治療の歴史やデータ）を知る事ができ、非常に勉強になりました。今後は、IBD 患者が雇用されている現状や生活の質を上げるためのヒントも詳しく知りたいなと思っています。
- 病気はなかなか他人に理解されにくく、1 人で抱えこみがちです。このような集まりがあると患者さん同士の出会いもあります。予想以上に有意義な時間を得られるので、また参加したいです。
- 妊娠した時の注意点、子供にどのワクチンを打ったらいいのか？ワクチンを打つ時期など、詳しく説明されていたので、お母様たちにとてもためになったと思います。また、患者会の意義は同じ仲間との出会いの場にもなっていて、貴重のものとなっています。今後とも末永く続けられることを望みます。

※ 参加者からの意見や感想に関して「福岡若手 IBD サークル」の協力を得ました。

九州ＩＢＤフォーラム　長崎ＩＢＤ設立しました

長崎 IBD 代表　麻生光芳

長雨の候、ますますのご健勝のこととお慶び申し上げます。
この度、平成２５年６月１５日長崎 IBD の設立を受け、代表に就任することとなりました。

九州 IBD フォーラムや長崎難病・相談支援センターとより一層の協力を元に、新たに長崎 IBD として活動を行っていく事となりました。
現在の IBD（クローン病・潰瘍性大腸炎）患者の中でも、個々の病状や生活状況は様々であります。
長崎 IBD 患者・家族の皆様と一緒になって情報を共有し、取り組んで参りたいと思います。
どうぞ、ご理解・ご支援をよろしくお願い致します。

今回、設立にあたり、九州ＩＢＤフォーラムの中山代表に「難病対策・ＩＢＤ患者のこれから」と題して、講話をいただきました。
みなさん、熱心に講話を聞かれていて、今後できる難病新法（仮）についてや、これまでの難病対策、また、“賢い患者になるためのコツ”みたいな話で笑いもおきたり。
今後、フォーラムとしても長崎ＩＢＤを応援していきます。ということで締めくくられました。

長崎難病フェスティバル２０１３

平成２５年６月１６日(日)長崎駅前かもめ広場にて「長崎難病フェスティバル２０１３」が開催されました。多くの方が行き交う中での啓発イベントです。
会場では長崎市の高校生がボランティアで街頭募金活動。メインステージでは、熊本難病･疾病団体協議会の代表でもある、中山さんより現状の難病制度・対策について問題提起しました。その後、４人のパネラーを向かえ、パネルディスカッション。行政（県担当者・労働局）・商工会・患者代表。各々の立場でご意見をいただき、現状のできること、理解しておかなければいけないことの共通理解をしました。
患者会代表の麻生さん（長崎ＩＢＤ代表）は行政・民間・患者と三位一体でいろんなことに取り組んでもらいたい。と締めくくりました。

広　告

様々な病気に打ち勝つため、
ファイザーは世界中で
新薬の研究開発に取り組んでいます。
画期的な新薬の創出に加え、
特許が切れた後も大切に
長く使われている
エスタブリッシュ医薬品を
医療の現場にお届けしています。

Pfizer

Working together for a healthier world™
より健康な世界の実現のために

ファイザー株式会社　www.pfizer.co.jp

「楽農」しませんか？

自分(達)の場所で
自分のペースで
作って、売って
きちんと収益をあげる

これが「楽農」

・雨など、天候に左右されない室内で作業
・腰高の培地に向かって椅子に座ったまま作業
・トイレに行くのも、休憩するのも自由
・種を植えたらずっと見守る必要はなし(笑)
・付加価値が高い農産物を栽培できる
・無農薬栽培

ご挨拶

東京でタクトビズ株式会社を経営しております、
代表取締役の大貫竜哉(おおぬきたつや)と申します。
IBD患者の皆様のご苦労はよく分かっています。
なぜならば、私自身がクローン病患者だからです。
私はずっと考えていました。
「病気が原因で就労が困難な人でも、無理なく働けて
きちんとした収入が得られる仕事があれば･･･」

農業は3Kの代名詞のように言われます。
しかし、私が提唱する「軽石農法」は従来のイメージとは
全く異なる農業スタイルを実現します。
大規模なビニールハウスから自宅の部屋の小スペースまで。
個々の事情に合わせた農業を可能にします。
個人はもちろん、患者会や有志の皆様で、
自分たちが**働く場所を地元に**作ってみませんか？
廃校になった校舎の再利用、シャッター商店街の活性化など、
地元が抱える問題を解決する糸口になる可能性もあります。

予算、営農規模、設備の設営、販路の確保など
お気軽にご相談ください。ご連絡をお待ちしております。

STEP1 ホームページで「軽石農法」をみる
http://takeba.biz
STEP2 資料請求のリクエスト
info@tactbiz.com
STEP3 事業計画の策定
STEP4 栽培設備の設置・栽培指導
STEP5 収穫、出荷、販売のフォローアップ

お手伝いさせていただきます!!

TACTBIZ Co.,Ltd.
http://tactbiz.com

賛助会員　(順不同)

平成 25 年６月現在、９社のご入会・お申込をいただいております。
ありがとうございます。

旭化成メディカル株式会社　様

アボット・ジャパン株式会社　様

ファイザー・ホールディングズ株式会社　様

杏林製薬株式会社　様

田辺三菱製薬株式会社　様

株式会社 JIMRO　様

テルモ株式会社　様

ギブン・イメージング株式会社　様

淀川食品株式会社　様

編集後記

今年は梅雨明けが早かったことと急に暑くなったことで、体調を崩されている方が多いと聴いています。授乳中の私は、例年になく脱水しやすくてひやひやしています。

私たち IBD 患者は、下痢等により熱中症になりやすいので気をつけたいものです。部屋に温度計と湿度計を置いてこまめに確認したり、起床した時から喉が渇いていなくても少量ずつ水分を取るようにしたりと、工夫しながらこの夏をのりきりましょう。

会誌作成にあたり、記事やお写真等提供くださった皆さんに感謝いたします。同じ IBD 患者である夫の協力にも感謝します。

点滴しながら授乳中・・・

IBDネットワーク通信２０１３年春号制作発行担当患者団体　福岡IBD友の会　鎌石佐織